

知れば知るほど奥が深い

お米作りのきほんの



～ 水管理と本田防除 編 ～

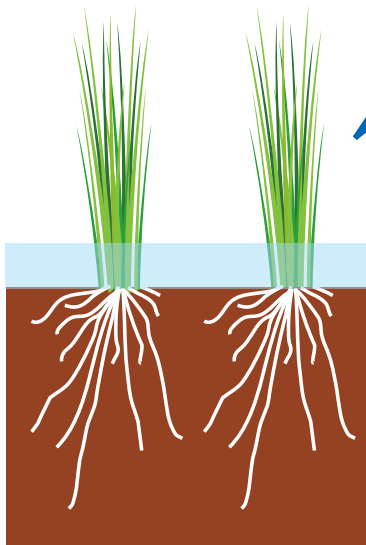


中干が終わった圃場は、入水する時期です!!
 気温が上がってくるこれからの水管理は、品質に影響します。出穂(穂が出てくること)の時期に水がないと、デンプンが米粒全体にきれいに入らずに白くなってしまいます。
 また、出穂するとカメムシが圃場に入ってきたり、感染した穂もちが目につきます。適期に防除し、品質の良いおいしいお米を作るため、水管理や病害虫に気をつけましょう!!
 ※出穂期とは田んぼ全体の40～50%で穂の一部が出た時期。

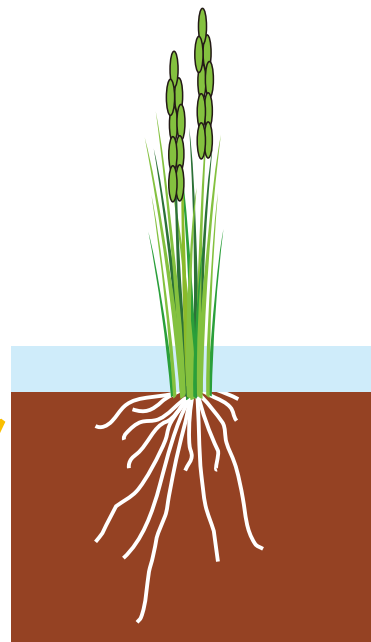
水管理



Point
 中干し後、入水し(5cmくらい水を溜める)、自然落水。田面が見えだしたらまた入水。この繰り返しを「**間断灌水**」。高温の時は、夕方に入水し冷たい水を入れることで夜温を下げる役割がある。



出穂が始まったら、基本的に湛水管理(水を溜めた状態)。この時期に、圃場内が高温になると生理障害で米粒が白くなるため、水を溜めることで地温を下げる。また、この時期は最も蒸散が多くなるので水を切らさない。



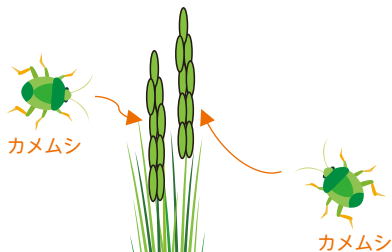
生長

本田防除・草刈り

穂が出てくると周りからカメムシが入ってきます。特に畔に雑草を残しておくところから入ってきます。出穂の15日前までには、畦畔の雑草を残さないようにしましょう。ただし、カメムシはどこからでも入ってくるので防除は必ず行いましょう。

また、雨が多い年には穂が出る前にいもち病の防除を！止葉に病斑が出ていると出穂する時に穂に病気が感染してしまうので注意。

いもち病の症状：ひし形の形をした灰色や白い病斑がつく。(写真右)



いもち病を発症

● 防除剤 ●

薬剤名	剤系	適用病害虫	注意 使用時期 使用方法 使用回数などは商品のラベルをしっかりと見て、確認してください。
スタークル	粒剤、液剤10、粉剤DL、豆つぶ	ウンカ類、カメムシ類、他	
ブラシン	フロアブル、粉剤	いもち病、ごま葉枯れ、他	
ビームスタークル	粉剤5DL	ウンカ類、カメムシ類、いもち病	

※カメムシ類の防除は出穂期後10～15日後

※粒剤、豆つぶは効果が表れるまでやや時間がかかるので出穂期後7～10日ごろにしましょう